



下田市議会だより

11月
令和3年
(2021)
No.80

- P2 滝内久生新議長あいさつ
- P3・4 令和2年度決算・主要な施策の審査レポート
- P5・6 両常任委員会増額補正予算を可決（統合中学校関連・インフラ整備）
- P7～9 市政を問う一般質問
- P10 議案等の審議結果

「実りの秋」

新議長あいさつ



議長 滝内久生

このたび、令和3年8月臨時会において、議員各位の推挙を賜り、下田市議会議長という重責を担うこととなり、責務の重さを痛感し身の引き締まるところでございます。

現在、全国的な新型コロナウイルス感染症の影響により、本市におきましても市民の皆様の日常生活や地域活動、特に、観光産業が基幹産業である本市にとっては、市内経済を含め計り知れない影響を及ぼしています。

このような中、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が、本市でも全力で進められているところです。

医療従事者をはじめ、関係者のご尽力によりワクチン接種対象者の接種率は約85%（11月1日現在）に達しており、皆様のご協力に心よ

り感謝を申し上げますとともに、一日も早い収束と市内経済の回復に議会も精一杯支援してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症以外にも、本市を取り巻く情勢は大変厳しい状況にあります。新庁舎建設事業、ごみ処理事業をはじめ、子育て、福祉、防災、経済活性化など多方面に課題が山積しています。

本年は、下田市制施行50周年、下田市第5次総合計画の初年度という新たなスタートの年であります。議会といたしましては、市民の代表として市民の思いを市政に反映していくという議会の原点に立ち、多様化する市民ニーズに 대응していくために、一層の研鑽を積み職務を全うしてまいります。

また議長として、円滑、中立、公正な議会運営に努め、市政発展に尽力してまいります。

今後も市民の皆様のご更なるご指導、ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

議会活動報告

女性及び若者の議会への参画について

本市の人口は昭和51年(1975年)の31,700人をピークに減少し、令和3年11月20,287人、更には令和27年に10,767人になるとの推計もあります。

人口減少は地域経済の縮小や労働者不足を招き、社会基盤の維持も困難となります。

当市においても、経済格差や多様化する社会等の社会環境の変化に様々な計画を立案し、対

応を進めようとしていますが、思うような結果が出ていません。

議会の役割は、執行に対するチェックと施策の提案にあります。議会の構成員は、女性ゼロ、若者も少ないのが現状です。

社会環境の変化に対応し、女性や若者が議会に参加しやすくするために、調査研究等を目的として会を発足しました。

議会運営のICT化について

本検討会には、9月定例会までに議員5名の立候補がありました。議員の多くが広報委員を兼務していることから、令和3年3月の議会改革検討会報告書（広報関係分科会）のなかで提言された内容と並行して議会運営のICT化に取り組めます。

視覚に障がいのある方などへの取り組み（広

報関係）として、令和3年12月定例会より各議員の一般質問録画映像がYouTubeで配信されるようになります。YouTubeページで「(仮称)下田市議会公式チャンネル」を運用するにあたり、ガイドラインを策定しています。



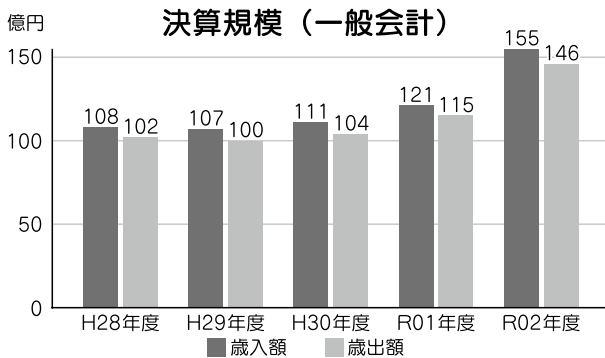
本特別委員会では、令和2年度予算の適正な執行とその成果を審査し、いくつかの事業に対する指摘及び要望を付し「決算認定」としました。審査報告書の概略をご紹介します。

決算審査特別委員会

令和2年度 下田市の主要な施策

一般会計決算を認定

歳入総額154億5,827万5,053円（対前年度比27.5%増）歳出総額146億3,098万9,382円（対前年度比27.3%増）となりました。



新型コロナウイルス対策の実施

新型コロナウイルスに対する地域支援のため、地域の実情に応じて実施する事業の財源として国から新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金5億830万円が交付されました。

I 感染拡大の防止：感染症対策、医療体制の確保などに4,894万6,000円

II 雇用の維持と事業の継続：生活に困窮した世帯や中小企業への経済支援等へ1億4,885万3,000円

III 経済活動の回復：観光や地域経済を活性化する取り組みとして1億4,667万円

IV 強靱な経済構造の構築：リモート等の公共施設の情報化や教育情報環境の整備（GIGAスクール構想）の取り組みに1億6,383万1,000円の交付金が活用されました。

観光施設美化衛生の推進

上記交付金を活用し、観光施設12か所のトイレ23基が約1,029万円が洋式化されました。また委託先の変更により尾ヶ崎ウイングの美化に改善が見られました。

下田中学校の整備・拡充

下田中学校整備工事は総額約18億円の内、令和2年度分は約8億6,018万円が実施され、その他にグラウンド改修工事、仮設校舎整備工事等が実施されました。

【屋内運動場】

【図書室】



デジタル防災行政無線を整備・改善

デジタル防災行政無線と戸別受信機が約9億7,591万円が設置され、受信困難地区の改善と戸別受信機（無償貸与）7,000台の内、3,111台を貸出し、在庫3,889台の普及に努めるよう求めました。

【戸別受信機】



ワーケーション拠点を整備・推進

旧樋村医院が耐震改修工事、一部解体工事等約1億5,653万円（国補助：約5,826万円、過疎債：9,090万円、一般財源：約737万円）で施工されました。

【ワーケーション拠点施設 外観】



【内観】

令和2年度 決算審査特別委員会のまとめ

下田中学校整備工事に意見

令和2年度に実施された下田中学校整備工事において、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で一部不十分な（蓋がない）トイレ設備を確認したため、改善を求めました。

【下田中学校洋式トイレ】



下田市新型コロナウイルス対応記録の策定

新型コロナウイルス感染症拡大によって、子どもから大人、個人事業者から大規模事業者まで、多大な影響が出ています。市は市民生活と事業を守るため、今後も迅速な対応と継続的な支援と施策が求められることから、新型コロナウイルス感染症に関する下田市の対応記録の作成を求めました。

文化・芸術・スポーツの振興

少子高齢化が加速する中でも、市民の生きがいづくりと健康増進、子ども達の学習機会と部活動の充実等、文化芸術の振興に努めるべきであります。統合中学校では休日の地域部活動への移行が推進されるため、下田市体育協会や下田市振興公社などの活用が求められることから、各種団体への補助金の増額を求めました。

【下田市スポーツ祭】



粗大ごみ処理の課題

観光立市下田には環境に十分配慮した持続可能な循環型社会の推進が求められている。現在、将来のごみ処理施設について検討が始まっているが、直面する問題として、市に粗大ごみ処理施設が無い場合、自前で処理できていない現状であります。近年の災害や今後の費用対効果について今後の検討を求めました。また、将来を見据えたごみ処理施設の在り方、リサイクルや環境美化に対する意識向上の施策を求めました。

【清掃センター粗大ごみヤード】



ふるさと応援寄附の推進

ふるさと応援寄附は、9,814件、約2億253万円の寄附があり、これに対する返礼品として、伊勢海老、干物等の海産物、ホテル宿泊券等に7,046万2,488円（送料込）が支出され、寄附額は前年度比199万円の減となっています。西伊豆町は約15億8,000万円の寄附があるのでその方法等を参考に増額が求められます。



決算審査特別委員会

委員長：渡邊照志 副委員長：矢田部邦夫

委員：江田邦明、中村 敦、鈴木 孝

佐々木清和、進士為雄、沢登英信



総務文教委員会所管の主な
補正予算項目をご紹介します。



教育関連 統合中学校整備・通学補助・GIGAスクール等

- 統合中学校の部活動決定に伴い、グラウンドに2～5mのネットフェンスが設置されます。
<3,200万円>
- 統合中学校通学バス業務委託が令和3～6年度の期間で限度額5,905万8千円（債務負担行為）範囲内で契約されます。稲梓地区の須原と加増野の2コースを、平日と休日等の部活動実施日に1日3便と、大会参加や小学校の校外学習等行事での運行が委託されます。他にも路線バス補助、自転車通学補助、雨天時路線バス補助などきめ細かい通学補助が予定されています。
- 通学路表示用標識設置業務委託<64万4千円> 統合中学校の通学路沿いの電柱約40本に通学路表示をし、行き交うドライバーに安全運転を訴えるものです。
- GIGAスクールサポーター<小中学校合計257万4千円> 児童生徒1人1台端末の活用にあたり、トラブル解消や利用促進のために専門のサポーターが学校を巡回します。GIGAスクール構想は、多様な子ども達に対して格差の無い教育を実現する可能性があります。当委員会では学級・学校閉鎖時や不登校児童生徒のためにもオンライン授業の早期確立等、存分な活用を要望しました。

広域行政推進 ゆるキャン△ SEASON2 看板作成 40万円



キャンプなどアウトドアが大好きな山梨の女子高校生達のゆるやかな日常が描かれた大人気漫画・アニメが「ゆるキャン△」です。静岡県の多くの景勝地が作中に登場することから、静岡県では広域のキャンペーンを展開します。下田市でもモデル地に登場キャラクターの等身大看板を設置し、ファンの誘客に努めるものです。今後のさらなる独自展開を要望しました。



静岡県特設HP
【県内モデル地MAP】

文化芸術振興 下田市民文化会館管理運営事業 計1,405万円

建設から32年が経過した市民文化会館ですが、当市の文化芸術振興の中核を成す施設であり、今後も継続して維持管理する上では計画的な修繕が不可欠です。

- 大ホール天井改修実施設計業務委託<513万円> 令和4年9月から同5年3月の間の5ヶ月間を工期とし、安価で工期の短い天井落下防止措置（ネット工法）が施される計画です。
- ワイヤレスマイク機器取替工事<300万円> 電波法改正により使用不可になるワイヤレスマイクが更新されます。
- 自動火災報知設備更新工事<530万円> メーカーの部品生産終了により、故障時の修理が不可の為、該当設備全体の更新が実施されます。

市制50周年記念事業 ご当地ナンバープレート制作 41万8千円

原動機付き自転車等のご当地ナンバープレートを作り、希望者への無償交換が実施されます。海をモチーフに「べるりん」をあしらった、かわいらしく下田らしいデザインです。奮って交換しましょう！





産業厚生委員会所管の
主な補正予算項目を紹介します。



● 商工振興 事業者応援金 1億5,130万円

令和3年3月から5月まで実施した事業継続支援給付事業の残額1億3,522万4千円を活用し、新たに令和3年9月から10月まで事業者応援金事業を実施するものです。事業者応援金事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、本年7・8月の売上が減少した市内事業者の事業継続を支援するもので、事業者区分ごと5万円または10万円が支給されました。

※事業者応援金の申請受付は、令和3年10月29日(金)で終了しました。

● 環境対策 エコバック等印刷製本費 145万1千円



ごみの削減に必要なリデュース及びリサイクルを推進するため、オリジナルエコバック1,500枚と雑がみ保管袋10,000枚を作成・販売し、リサイクル運動の実践を啓発するものです。

● 移住推進 移住・就業支援金 680万円

東京23区の在住者等が地方に移住し、就業しやすい環境を整えるため、国と県の移住・就業支援事業費補助金を活用し、下田市への移住・就業等を促進するものです。

※移住・就業者：100万円(単身60万円)、令和3年3月1日より移住・就業の他、テレワーク等も支援金の対象となりました。



【東京23区】

【下田市】

※詳しくは産業振興課まで TEL：0558-22-3914



下田市 HP
【移住・就業支援金】

● インフラ整備 道路維持補修工事他 計7,020万円

行政区より提出された地区要望等に対応するため、施設・設備の修繕及び維持補修工事を実施するものです。

道路維持費	4,070万円
交通安全施設整備費	950万円
河川維持費	1,300万円
排水路維持費	700万円



● 災害復旧 公共道路橋梁施設災害復旧工事 計6,586万5千円

熱海市伊豆山で発生した土石流災害と同じ、令和3年7月1日から5日まで降り続いた大雨により、市道【赤間白浜線】の法面が崩落したため、災害復旧債を活用し法面の復旧工事を行うものです。



【赤間白浜線崩落現場】

□ 7月臨時会総括

7月26日に開催され、提出議案は条例1件、補正予算1件、専決1件でした。

専決処分（一般会計補正予算）は、新型コロナを起因とする困窮への自立支援及び経営改善補助に関するものです。補正予算は、歳入歳出をそれぞれ6,007万6千円追加し、総額はそれぞれ115億2,259万4千円となりました。歳出の主なものは新型コロナワクチン接種事業、橋梁災害復旧事業でした。

□ 8月臨時会総括

8月19日に開催され、議案は専決処分（一般会計補正予算）であり、歳入歳出ともに3億1,100万円を追加し、総額はそれぞれ118億3,359万4千円で、原案のとおり承認されました。

歳入は、新型コロナウイルス拡大防止協力促進事業補助金2億9,042万円、歳出は、約

630事業者が対象となる感染拡大防止協力金です。また、議長辞職をした橋本議員に対する議員辞職勧告決議が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

□ 9月定例会総括

9月8日～29日（22日間会期）の日程で27議案が上程され、本会議及び常任委員会、決算審査特別委員会で審議・審査されました。9月定例会は例年、前年度決算が審議されるため8名の委員を選出し、6日間にわたる同委員会を含め長期間の議会となりました。一般質問は7議員が行った他、「1市3町の広域ごみ処理計画調査特別委員会の設置について」が発議されましたが、賛成少数で否決されました。他の26議案はいずれも原案のとおり可決・報告されました。

一般会計補正予算は、歳入歳出の総額は128億9,322万8千円となりました。決算審査特別委員会、総務文教委員会、産業厚生委員会の審査の詳細は各報告をご参照ください。

新たな事業策定として、今年度から「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が交付され「下田市過疎地域持続的発展計画」が策定されました。下田市総合計画との整合を図りつつ令和3～7年度にわたり重点方策に取り組む旨が示されています。

市政を問う一般質問



スマートフォンでQRコードを読み取ると各議員の一般質問の会議録の閲覧ができます。

大川 敏雄 議員



新庁舎は「いったい何時になったら出来るのか」、多くの市民は市政に対して不信と疑問を抱いていると思います。

平成29年12月に改正した位置条例の施行期日である本年12月14日までに新庁舎の開庁が出来ず、9月定例会に令和8年12月までに延長する条例改正案が提案され、私は賛成しました。

令和4年4月に移転予定の稲生沢中学校は、耐力度調査の結果、校舎、体育館及び技術棟

新庁舎を既定計画地に、令和8年度までに開庁を!!



【会議録】

が利用可能であることが判明しました。令和元年度に購入した稲生沢中学校北側用地1,500坪と現稲生沢中学校用地4,000坪、合わせて5,500坪を有効活用して、建築事業費を大幅に抑制し、緊急防災減災事業債の適用を受け、稲生沢中学校施設の活用範囲の拡大と新設部分の縮小化を図り、身の丈に合った新庁舎建設事業を推進することが最も適切な対応であり、その実現化を図ることを提案しました。

渡邊照志 議員



デジタル防災行政無線の特徴と 難点について

気象情報等を収集し、避難判断基準に応じたアラートや避難が必要とされる危険区域に限定した放送が可能であり、沿岸7か所の子局にモーターサイレンを装備し、津波等の発災時、避難を指示する機能が付いた。子局を減らしたことで放送が届きづらい地区に対しての対応はどうしたのか。無償貸与される戸別受信機(7,000台)の残数はどれくらいか。これからの無料貸与に対する方策について質問した。

デジタル防災行政無線・新中学校の部活動について



【会議録】

新下田中学校の部活動種目決定について

運動部11部、文化部3部の14部、部活に準ずる「地域部活動」として短、中、長距離に限定した競走部の1部が決定された。

サーフィン部は大自然の中での活動であり、安全に対する不安に対しどのような対応策をもって部活として決定したのか。また、敷根プールでの、練習の安全性の確立について。

競走部設立の背景、部活に対する顧問の配置、総合文化部の活動内容、顧問の負担軽減のための外部コーチのあっせん等について質問した。

矢田部邦夫 議員



事業で良い結果を出すための手順として、いろいろな要素が備わった上で、検討し→判断し→決断し→行動(実行)に移すことだと思っています。この一連の流れの中で、判断力がとても重要になると思っています。結果が悪かったら考え方、判断が間違っていたことになります。よって、ムダが発生し、ムダ遣いに繋がります。

また失敗する原因にもなるし、場合によっては取り返しがつかなくなることにもなります。

松木市長の一年間を振り返って



【会議録】

以上のことを踏まえ3点の質問をしました。

①黒船祭のあり方②コロナ感染症対策と下田モデルについて③新庁舎建設及び現庁舎の安全について

専門家・有識者・大学と外部の方を多用することは参考にはなるとは思いますが、仕事は停滞し、時間もかかり、費用もかかることに繋がります。

判断を誤ることなく、下田モデルよりも一日も早く、喫緊の課題である庁舎建設、市民・職員の安全・安心を確保するためにも、スピードアップで取り組んで欲しいと強く訴えました。

中村 敦 議員



統合中学校の部活動について

期待値の高い新中学校の部活動について、用具や練習場所等の環境整備方針と予算確保について問いました。特に新設サーフィン部の練習方法や指導者等も確認しました。また教職員の働き方改革と併せた休日部活動の地域移行の推進について、国が段階的に進めるとする令和5年度より前倒しで取り組む重要性を訴え、振興公社やNPO法人との連携と地域おこし協力隊の活用を要望し、その方針を問

統合中学校の部活動・海水浴場のインフラ整備



【会議録】

ました。

海水浴場のサービス提供と健全化および観光地としてのインフラ整備について

観光地下田の主軸といえる海水浴場については、コロナ後のV字回復にも欠かせないのが海水浴客を増やす取り組みであり、給水も無料シャワーも足洗い場も無い衛生環境のままで良いのか、夕トウー露出規制や分煙など健全化・近代化ルールの周知徹底が成されていない事等々、問題提起し今後のあり方と施設整備について議論し要望しました。

沢登英信 議員



南伊豆地域ごみ処理事業計画の中止を求めて



【会議録】

①敷根は住宅地に囲まれた文教地区で、1市3町の焼却炉を建設する適地でなく、ダイオキシンや水銀、鉛、カドミなどの有害物質、CO2や硫酸化物などによる健康不安と多くのごみ運搬車が押し寄せ交通渋滞が予想され、計画の中止を求めます。

②ごみは燃やさず資源化する計画が求められています。国は気候変動危機に対し2050年までにCO2をゼロにするとしています。30年間も燃やし続ける計画は循環型社会の形成に反

しており、資源化計画のない焼却計画は市民のためになりません。

③どうして他町のごみまで敷根で燃やすのでしょうか。1市3町が分担することを協議すべきです。また、1市3町が公益上妥当なのか。

④財政破綻をきたす計画です。建設費に106億円、運営費に30年間で182億円、収集運搬費を含めると300億円を超えます。市民の負担増をもたらす財政危機に追い込む計画です。

佐々木清和 議員



2年間の質問に対する市の対応と確認 ほか4件



【会議録】

以前行った一般質問に対して、当局の対応は出来ない理由の羅列、しからは如何にして前進するかの回答は感じられなかったもので、再度確認の意味を込めて質問しました。

①白浜海岸に放置されたコンクリート片、地震や風化による磯道への落石、下田港に放置された廃棄船等の撤去を再質問した。

②令和2年度に予算化された庁舎建設、今日まで支出した実施設計など無駄な支出をどう考えてい

るか、誰が責任を取るのか問い質した。

③伊豆山の盛り土崩壊は大惨事、市内の大沢の廃棄物処理場や赤間線旧灰捨て場は豪雨による崩壊はないのか確認。

④白浜海水浴場の違反営業者に、どのような取り締まりを実施したか、地元の人達への妨害、威圧的な行為、違法業者の中にコロナに感染した者が多数出ているとの風聞、業者はマスク無しで行動し区民はいつ感染するか恐怖と不安に晒されていた事への対策と確認を求めました。

江田邦明 議員



新型コロナ人権擁護・一般質問のPDCA



【会議録】

新型コロナウイルス感染者等の人権擁護と社会づくりについて

下田市が取り組む「新・下田モデル」は感染予防策に重点が置かれ、感染や感染拡大時とその後の対応について改善が必要であり、「コロナ禍もコロナ禍の後も心から暮らしやすい社会づくり」の実現のため、新型コロナウイルス感染者等への誹謗中傷等に対する人権擁護や正確な情報の提供と公表への対策等について問いました。

PDCAに見る議員の一般質問等に対する対応について

一般質問は議員活動の根幹であることから、次の点について問いました。①質問事項を通告した後、どのようなプロセスを経て答弁内容の意思決定がされるか。②定例会後の一般質問の取り扱いについて、具体化された明確な対応方針があるか。③市政と議会が議場で何を議論しているか、市民と共有する必要があることから、一般質問への対応方針や進捗状況などを調査検討し、その内容を市民に公表することについて問いました。



令和3年7・8月臨時会 9月定例会 審議結果

番号	議案件名	審議結果
報第7号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第4号））	承認
議第40号	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議第41号	令和3年度下田市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
発議第3号	橋本智洋議員に対する議員辞職勧告決議	否決
報第8号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第6号））	承認
議第42号	令和3年度下田市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
認第1~10号	令和2年度下田市一般会計歳入歳出決算認定について【他9会計決算認定】	原案認定
報第9号	令和2年度決算に基づく下田市健全化判断比率の報告について	議決不要
報第10号	令和2年度決算に基づく下田市公営企業の資金不足比率の報告について	議決不要
報第11号	債権放棄の報告について	議決不要
議第43号	下田市過疎地域持続的発展計画について	原案可決
議第44号	下田市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の免除に関する条例の制定について	原案可決
議第45号	下田市役所の位置に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第46~54号	令和3年度下田市一般会計補正予算（第8号）【他8会計補正予算】	原案可決
発議第4号	1市3町の広域ごみ処理計画調査特別委員会の設置について	否決

《賛否の分かれた議案》

（○：賛成 ×：反対 欠：欠席 -：退席）

番号	7・8月臨時会・9月定例会 議案件名	江田邦明	中村敦	鈴木孝	渡邊照志	矢田部邦夫	佐々木清和	滝内久生	小泉孝敬	進士濱美	橋本智洋	進士為雄	大川敏雄	沢登英信	審議結果
発議第3号	橋本智洋議員に対する議員辞職勧告決議	×	×	×	×	○	○	/	×	○	-	×	×	○	否決
議第42号	令和3年度下田市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	×	原案可決
認第1号	令和2年度下田市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	×	/	○	×	○	○	○	×	原案認定
議第43号	下田市過疎地域持続的発展計画について	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	×	○	×	原案可決
議第45号	下田市役所の位置に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×	原案可決
発議第4号	1市3町の広域ごみ処理計画調査特別委員会の設置について	×	×	×	×	○	○	/	×	○	×	×	×	○	否決

※議長（滝内久生）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

表紙写真の紹介

■ 撮影者 ■



静岡県立下田高等学校
23HR 平井満菜美さん

収穫後の天日干しされている稲穂が夕日に照らされ、稲一つひとつが輝いている風景に感動しました。



撮影場所
大賀茂の田んぼ

編集後記

議会だよりの編集にはいつもながら気を使うこととなります。プロの編集ではありませんので気づかず、知らずのミスも残念ながら多々あるものと緊張します。言葉を工夫する作業ですが、昨今の解釈の違い、意味合いの変化に戸惑いを覚えます。政治で大切な区別、輿論（よろん）と世論（せろん）が混同使用され、民主主義の根幹が揺れる思いです。戦後、輿論が当用漢字から外れたことに要因があるようです。（進）

下田市議会の活動に役立てるため、市民の皆様の声を電話・メール・FAXで右記（欄外記載の連絡先）までお寄せください。

発行 下田市議会
編集 広報委員会
住所 下田市東本郷二丁目5番18号

TEL 0558-22-2220
FAX 0558-27-1511
E-mail: gikaijin@city.shimoda.lg.jp

広報委員会
委員長 江田邦明
副委員長 中村敦
委員 鈴木孝 佐々木清和 進士濱美

議会HP

